

グローバル×ローカル～グローカル～

平成29年度 3年 1組(18) 竹内 星子
指導 社会共創学部 山口 由等

動機

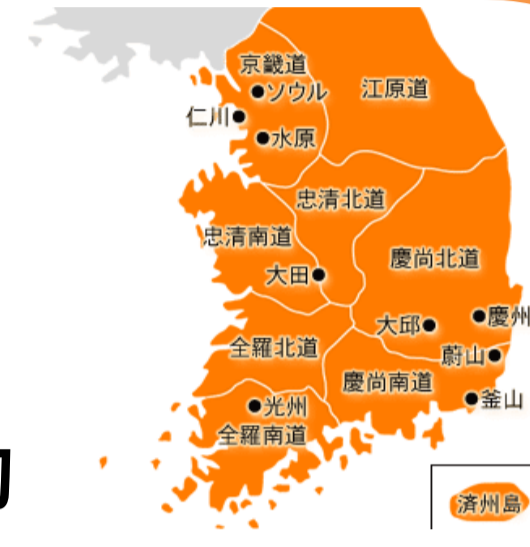
- ・グローバル化社会になっていく中、自分自身の住んでいる地域の課題や特色を理解していることが大切
- ・グローバル化社会と郷土愛に**関係性**があるのかについて調べようと考えた

研究方法

- ①先行研究
辰己 佳寿子(福岡大学の山口県の地域復興と国際協力～周南市鹿野渋川の国境をこえた地域づくり～)
- ②附属高校生にアンケート・分析

先行研究

辰己 佳寿子「山口県の地域復興と国際協力～周南市鹿野渋川の国境をこえた地域づくり～」



- ・日本と韓国の集落同士が地域活性、少子高齢化、過疎化など共通の問題について話し合う。
- ・日本から集落の女性たちが韓国にキムチを学びに行く。
- ・韓国人が日本へ農業を学びに来る。

～論文を通してわかったこと～

- ・実際に作業を通して国際交流を行ったほうが質が高くなる。
- ・国境を越えて共通課題について話し合うことで、新たな解決方法を見出すことができる。
- ・無理なく続けることが大事。

～自分の考え～

- ・地域活性には年配の住民はもちろん、さらに若者も加わったほうが良いのではないかと。
- 高校生の意見を聞くことに！

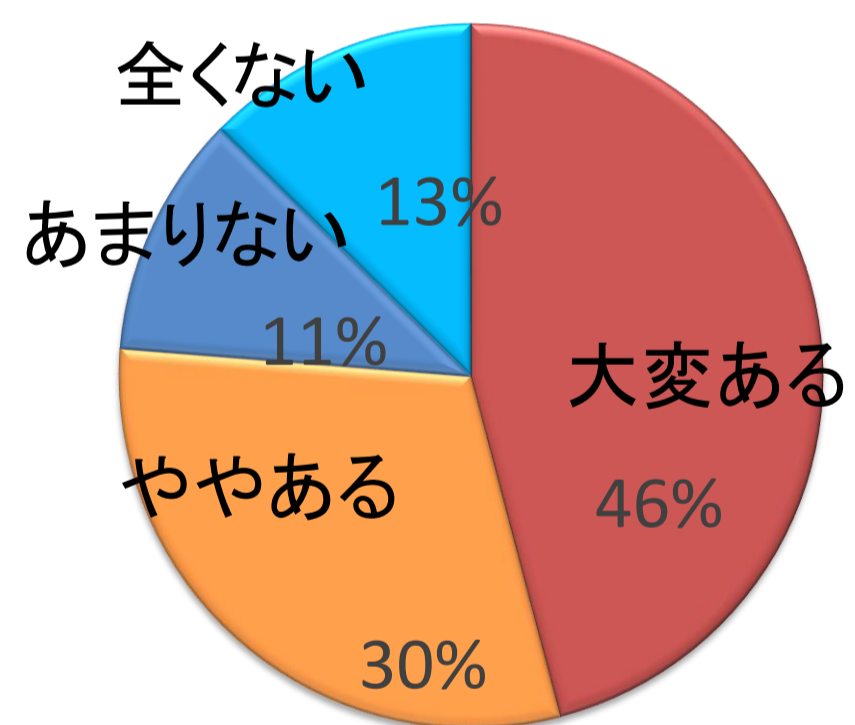
アンケート内容

- ・愛媛大学附属高校生の郷土愛調査
- ・日本文化に触れることによる感情の変化

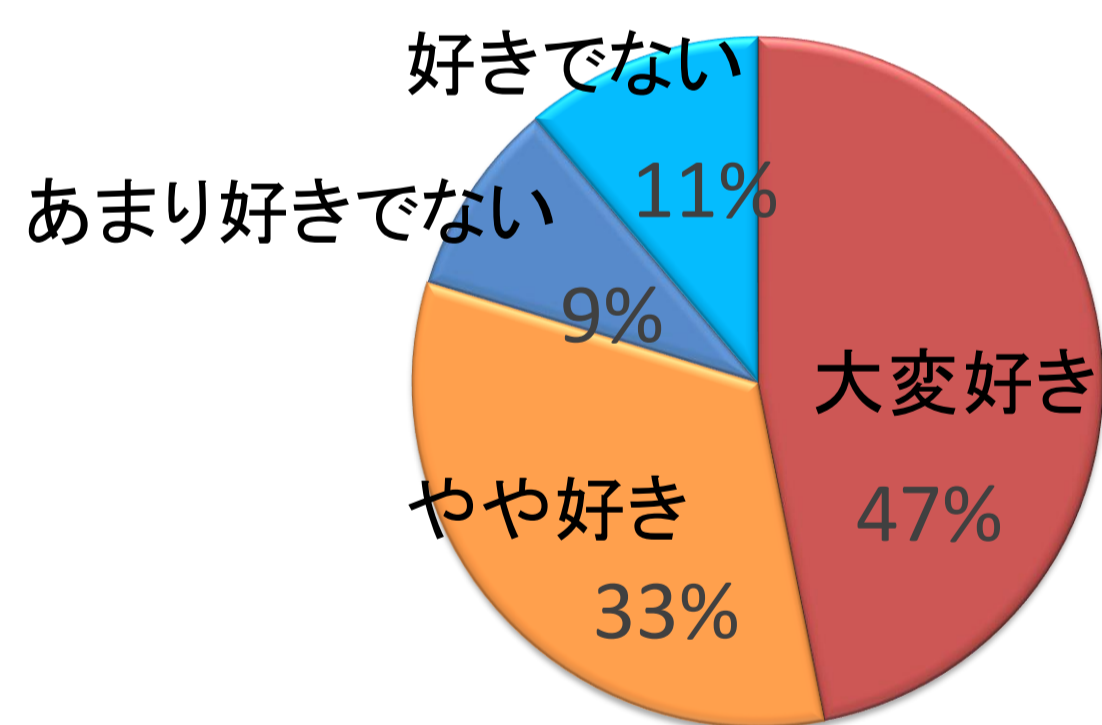
- ・海外への興味調査
- ・グローバル化への意識調査
- ・グローカルな取り組みについて(外国人を含む複数のイベントから参加したいものを選択)

アンケート結果

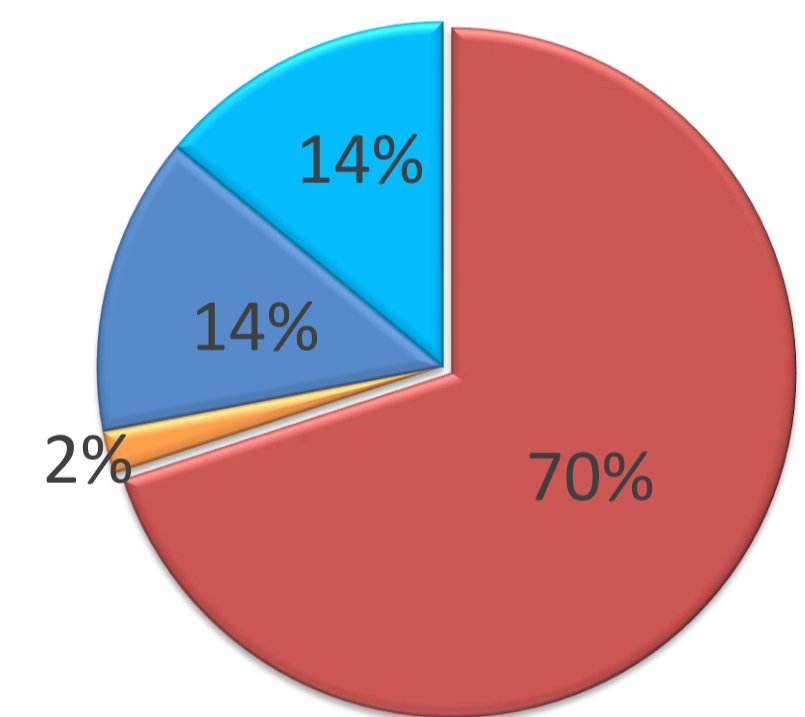
Q.海外に興味ありますか？



Q.自分の故郷が好きですか？



合計の割合であり、信頼度を上げるためにさらに分析を深める。



アンケートの結果郷土愛の高い割合とグローバル意識の高い割合がほぼ等しい結果となった。

一人一人のアンケートの内容を集計すると郷土愛の高い人はグローバル意識も高かった。

Q自分ならどのようなイベントに参加してみたいですか？

1位 スポーツ大会 **混合vs混合**(日本人+外国人) 203票 56%

2位 料理教室(料理を日本人と外国人で習う) 183票 50%

3位 食事会(外国人と一緒にひたすら食べる) 138票 38%

4位 外国文化の実践的交流(伝統的な遊びなど) 126票 35%

5位 日本文化の実践的交流(習字、けん玉、茶道など) 121票 33%

6位 愛附の田植えの実習(田植えの実習に外国人が参加) 114票 31%

7位 スポーツ大会 **日本人vs外国人** 96票 26%

8位 勉強会(異文化についての講義) 78票 21%

考察

- ・郷土愛かつグローバル意識の高い人が多いことがわかり、郷土愛とグローバル意識は関連している。
- ・グローカル意識を向上させるためには日本人と外国人が協力しあえる共通の活動を通して交流することが良い。
- ・日本文化、外国文化などを特定した交流方法よりもみんなが楽しめる交流方法が人気。

謝辞

お忙しい中丁寧にご指導いただいた山口先生に心から感謝申し上げます。今後学んだことを生かして社会に役立ちたいです。ありがとうございました。